

宿河原堰下の中州に コアジサシが営巣、巣立ちに成功!

毎年、宿河原堰に集団で飛来し営巣活動をしているコアジサシ。これまで、堰の支柱上で繁殖しようとしていましたが、猛禽やカラスに襲われたり育った雛が水中に落ちたりして、巣立ちに至りませんでした。昨年より繁殖場所を堰下の中州に変えて、巣立ちに成功しています。

今年も100羽を超えると思われる集団が飛来し、子育てをしております。通常雌雄1組が2~3羽の子を育てていますので、順調にいけば100羽前後の巣立ちが見られると期待できます。危険は増水による中州の水没ですが、6月末で飛び始めた幼鳥もあり、その危険性も薄らいでおります。ペアリングは

雄から雌への求愛給餌です。雄からの魚を雌が受け取ってくれば、ペアが成立します。巣は小石の間の凹んだ場所に何ら加工なしに作っています。

コアジサシの営巣場所は少なくなっており、今後もこの地を営巣場所として残していきたいものです。そのため営巣期間中(5月中~7月中旬の2ヶ月間)は、中州に立ち入らな

ようにすれば、保護できると思われます。何せ卵も雛も小石と保護色なので、気付かずに踏みつぶす危険性大です。増水による水没は、防ぎようがありませんが…。

(宿河原/大野 章 写真・記)

◀コアジサシ:夏鳥。オーストラリアから渡ってくる。絶滅危惧種



交尾



給餌



巣立ち

みんな集まれ! 多摩川でエコをみつけよう!!

ニヶ領せせらぎ館内
夏休み自由研究コーナー設置



亀や魚、川原の野草で何がわかるかな?



水質? 水温?
何が生きてるかな? 食べ物は?

◀多摩川に関する資料も、たくさん用意しました!

